

# 身延・南部地域連携型中高一貫教育事業 連携型中高一貫教育通信

身延中学校／南部中学校／身延高校

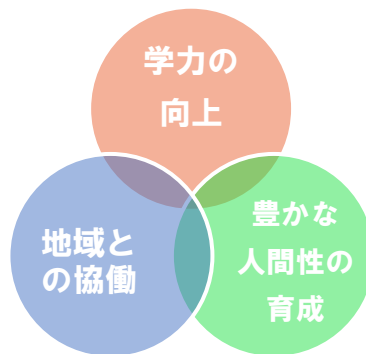
中学校・高校・地域、  
新しい視点で教育をとらえる！  
身延・南部から  
日本へ発信！

## 夢の実現へとつながる力を育む

CAREER EDUCATION

次の事業を『キャリア教育』の視点で実施しています

- 中学校の授業アシスト
- 部活動合同練習
- 高校の授業アシスト
- 演劇指導
- キャリアセミナー
- ライフミュージアム
- サマーセミナー
- 防災セミナー
- 総合学科発表会



地域を担う人材の育成 連携型中高一貫教育事業



地域への理解を深め、地域社会の形成に主体的に関わる姿を育てます。

この事業の大きな目的は『地域と協働する生徒の意識を高めるためのキャリア教育』です。高校・中学校で互いに手を取りあうことにより、将来を見据えたよりよい教育活動へとつながっていきます。様々な立場の方々の協力により成り立っている事業でもあります。横のつながりである、「地域とのつながり」、縦のつながりである「中高の連携」、さらに広く社会へとつながるための教育です。



南部中学校



身延中学校



身延高校



身延高校キャラクター ポッポちゃん

令和4年3月

身延・南部地域連携型中高一貫教育推進委員会

発行：身延高等学校

<http://www.minobu.kai.ed.jp>

# 令和3年度

# 中高一貫教育 実践報告



今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった事業がありました。実施された事業も制約の多い中でしたが、実施することができました。生徒の皆さん、保護者の方々、地域の方々の協力のもと、実施することができましたことに感謝申し上げます。今年度実施した中高一貫事業について、概要及び成果を報告します。

生徒の**地域社会に貢献**する意識を高めるために

## キャリアセミナー

身延高校生が、高校で学んできたキャリア教育の成果を中学生に発表しました。これは中学生、高校生ともに、自身の進路について深く考え、またよりよい進路実現ができるようになるための、大切な行事です。この発表をするために長い時間をかけて、また、様々な場所へ行きインタビューする等、研究を重ねました。



### 高校生

- ・様々な課題についていろんな角度から調べることができた。
- ・「誰かに教える」という能力が少し身についたと思う。
- ・将来に向けて課題点を調べ、理解することができた。
- ・相手の反応を見ながら進められた。中学生と一緒に進められた。
- ・司会でみんなをまとめるのが意外と楽しかった。まとめるのが得意かも。
- ・相手の意見や意味を読み取る力をもっと伸ばしたい。
- ・自分から発信する力がついた。
- ・相手の考え方を尊重しながら、自分の意見が述べられた。

### 中学生

- ・自分と違う視点で、細かく教えてもらうことで、分かりやすく興味を持つことができた。
- ・仕事に就くために必要な資格等を知る事ができたので、将来なりたい職業の幅が広がった。
- ・なんにしてもどの仕事でも相手のことを思いやることやコミュニケーションが大事なんだなと思った。
- ・自分が将来なりたいものが自分の人生に将来どのような影響があるかを考えるきっかけになった。
- ・色々な職業を知る事ができたので、考える選択肢が増えた。
- ・高校生たちの発表は聞きやすくて、分かりやすくまとめてあった。

### 中学校で発表した職業一覧（班ごとの作成）

看護師 映像制作(報道) 動物愛護指導 警察官 保育士 図書館司書 プライダルプランナー  
アニメーター 果樹農業 水族館飼育員 料理人 エステティシャン 声優 放射線技師

個人の取り組みでは、それぞれの興味のある職業についての研究レポート『夢ポスター』を作成し、校内に展示をしています。

# LIFE MUSEUM 2021



身延高校において、美術部門・家庭部門・書道部門・教科部門などの授業の中での成果物や、演劇部の公演、地域の方々(身延中・南部中・身延高校 PTA など)の作品展示がありました。ワクチン接種により、新型コロナウイルス感染者が減少した秋の時期に開催されました。今年度は、木版画家山福朱実氏の『水はみどろの宮』(原作石牟礼道子氏)の絵本原画展と、ユージン・スミス氏、アイリーン・美緒子・スミス氏共著『MINAMATA』の写真作品をスライドショー形式で展示をしました。また、水俣病についての資料を熊本県の水俣病センター相思社よりお借りし、社会問題や科学倫理に関する見識を深めつつ様々な作品を鑑賞しました。高校では南部産ヒノキの間伐材を使用したカトラリーの制作や、木材を原材料とした椅子の設計・10分の1模型制作など、中学校では、地域の風景を題材にした切り絵やマスクのデザイン画など、地域や社会を意識した様々な形の作品が見られました。書道においては、西嶋和紙や雨畑硯など伝統的な産業が以前から根付いているこの地域の特徴を再認識してもらう大事な作品発表の場でもあります。地域の未来につなげる役割を意識しながら『学校博物館』として、今後も運営していきます。

## ◆◆◆◆◆ 身延・南部 つながる表現力 演劇指導 ◆◆◆◆◆



中学校の学園祭で実施される演劇について、身延高校演劇部顧問による指導・助言が行われました。レベルの高い演劇指導を受けるごとに生徒たちの集中力が研ぎ澄まされ、演技力も少しずつ向上していきました。熱の入った演劇指導は、表現力を「つなげる」ためにも大切な中高一貫教育事業の文化活動です。

## ◆◆◆◆◆ 部活動合同練習 ◆◆◆◆◆



ソフトテニス部、男子バスケットボール部が中学校の生徒と合同練習を行いました。講習会形式での練習をすることによって、技術のポイントを確認し、共有することが出来ました。高校生が中学生に教えるだけでなく、中学生から高校生にアドバイスを聞きに行くなど、互いに声を掛け合いながら練習することが出来たのは、お互いの成長のためにも大変有意義な機会となりました。

## ◆◆◆◆◆ 今年度中止になった事業 ◆◆◆◆◆

コロナウイルス感染防止の観点から、夏季休業中実施予定だった防災セミナーは中止、2月上旬に行われる予定だった総合学科発表会はオンライン上での期間限定の映像配信での発表となりました。

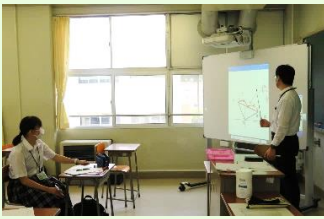
# サマーセミナー

## 高校の先生から中学3年生に向けての高校入試対策講座を実施しました



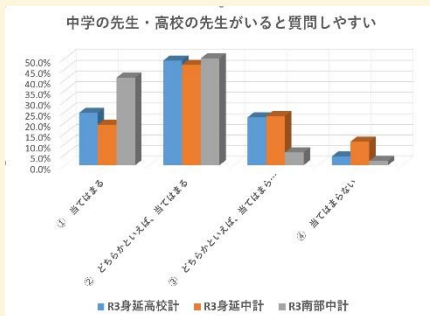
7月末から8月初旬の3日間、身延高校で中学3年生を対象に、高校入試の問題などを解説するサマーセミナーが行われました。コロナ感染拡大など心配されましたが、感染対策を十分に取り、実施されました。国語、英語、数学の難易度も考慮した講座が用意され、生徒のニーズに答えられるようにしました。

参加した生徒からは、高校の様子がよくわかり、受験のモチベーションも上がったと感想にありました。また、中学3年生が参加することで、生徒の学習理解度や、課題も発見することができるので、高校側にとっても、さまざまな気づきを得られた事業となりました。

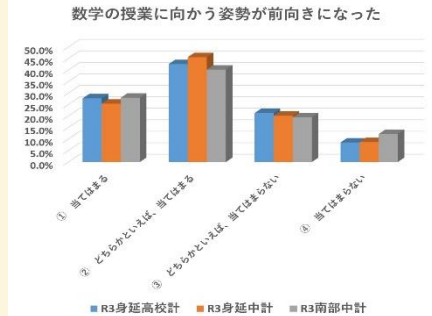


# 授業アシスト 事業アンケートの報告

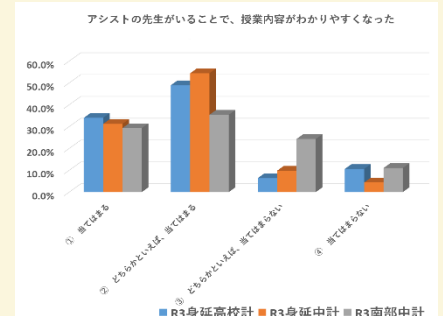
### 受講生徒アンケートから



中学生・高校生生徒対象アンケート①



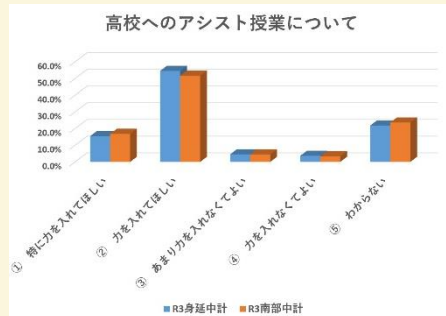
中学生・高校生生徒対象アンケート②



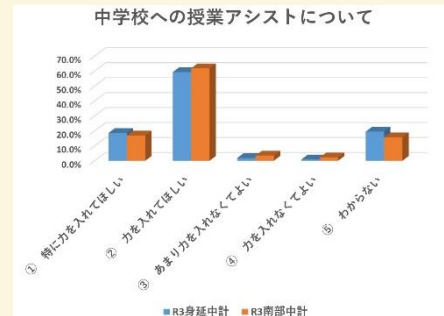
中学生・高校生生徒対象アンケート③

「学力向上」と「基礎学力の定着」のために高校の先生が中学校の数学の授業アシストを行っています。また中学校の先生による、高校の数学と英語の授業のアシストも7月末まで行われました。このグラフを見ると、授業アシストが中学生や高校生の学習に非常に役立っていることが分かります。

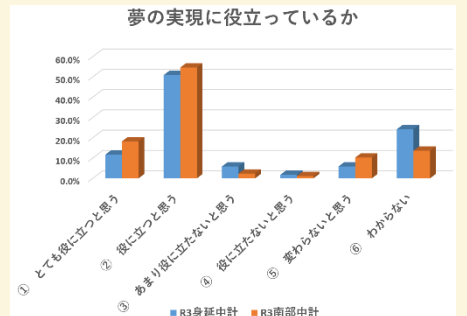
### 保護者アンケートから



中学生保護者対象アンケート①



中学生保護者対象アンケート②



中学生保護者対象アンケート③

中学校の保護者アンケートの結果においても、生徒自身の夢の実現に役立っているかとの質問に対する回答では、「とても役に立つと思う」と「役に立つと思う」という割合が60%以上あります。地域ぐるみでこの『中高一貫教育事業』を今後もPRしていきたいと思います。関わってくださった地域の方々には、改めて感謝を申し上げるとともに、今後ともご支援ご協力をよろしくお願いいたします。